

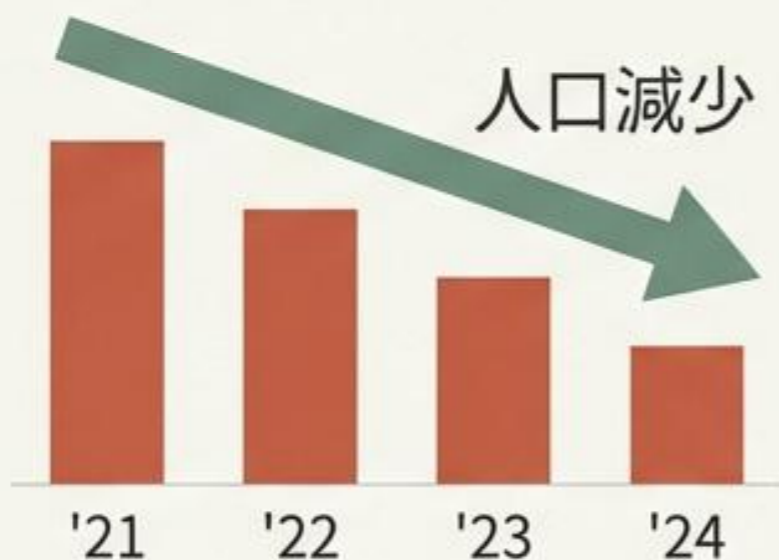
# 出雲市デジタルファースト推進計画 改訂の概要

「デジタル化」から「社会的価値の創造」へ — 戦略的進化の全貌

# 改訂の背景：深化する課題と新たな潮流

## 深刻化する地域課題

- 2024年の出生数が過去最少
- 労働力不足の加速

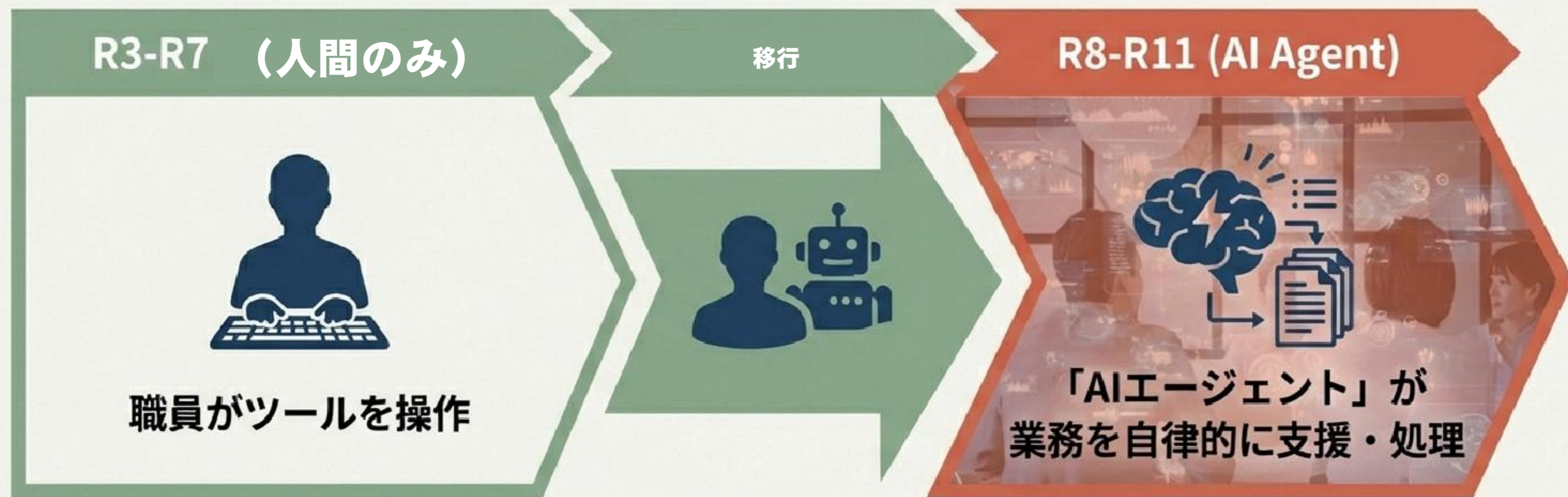


## 国の新たな動き

- 「地方創生 2.0」
- 「AIフレンドリーな社会」への転換

**結論：従来の手法（ツールの導入）だけでは、行政サービスの維持が困難なフェーズに突入している。**

# 技術活用の深化：「ツール」から「AIエージェント」へ



- 生成AIの活用を超えた、業務プロセスの抜本的自動化
- 労働力不足を補うための「AIフレンドリー」な業務構築

# 改訂のポイント：計画の戦略的転換

区分	現行計画 (R3-R7)	次期計画 (R8-R11)
目的	利便性・効率化	価値の実感・Well-being 
位置づけ	個別計画	行政経営戦略 
技術	デジタルツールの導入	AI・データの徹底活用 
体制	外部委託中心	官民共創・内部人材育成 

「単なるデジタル化」から、人口減少社会における  
「持続可能な社会変革」へのフェーズ移行。

# デジタルファースト推進計画（第2期）の体系

将来像	基本理念	基本施策	重点分野
<p>“デジタル”と “ご縁”で創る スマートシティ 出雲</p>	<p>①市民本位 (多様な幸せを実現)</p> <p>②快適なまちづくり (スマートシティの実現)</p> <p>③官民共創 (イノベーションの創出)</p>	<p>①市民サービスの デジタルファースト</p> <p>②まちづくりの デジタルファースト</p> <p>③産業・観光の デジタルファースト</p> <p>④共通の取組</p>	<p>行政運営の高度化 (AIエージェントの活用)</p> <p>教育現場・不登校対策の深化</p> <p>交通分野 (地域交通の再構築)</p> <p>産業・観光分野 (付加価値の創出)</p> <p>強靱な防災体制の構築</p> <p>医療・福祉・介護分野の デジタル活用</p>

# 推進するための戦略的手法：「官民共創」と「内部変革」



## 1. 官民連携事業 (PPP/PoC)

民間技術の活用による地域課題解決。



## 2. AI・データ活用型 行政への転換

職員自身がAIを使いこなす  
人材育成。



## 3. 戦略的な財源確保と 広域連携

企業版ふるさと納税、県単位  
での共同調達。



## 4. デジタルワークスタ イルの徹底

フリーアドレス、ペーパーレ  
スによる業務刷新。

# 重点分野：リソースを集中投下する6つの領域



## 1. 行政運営の高度化

AIエージェントの活用と  
自律的タスク遂行



## 2. 教育現場・不登校対策の深化

「デジタル教育支援センター」  
設置と心のケア



## 3. 交通分野

地域交通の再構築と  
MaaS導入



## 4. 産業・観光分野

付加価値の創出と  
デジタルマーケティング



## 5. 強靱な防災体制の構築

災害情報の可視化と  
迅速な指示系統



## 6. 医療・福祉・介護分野の デジタル活用

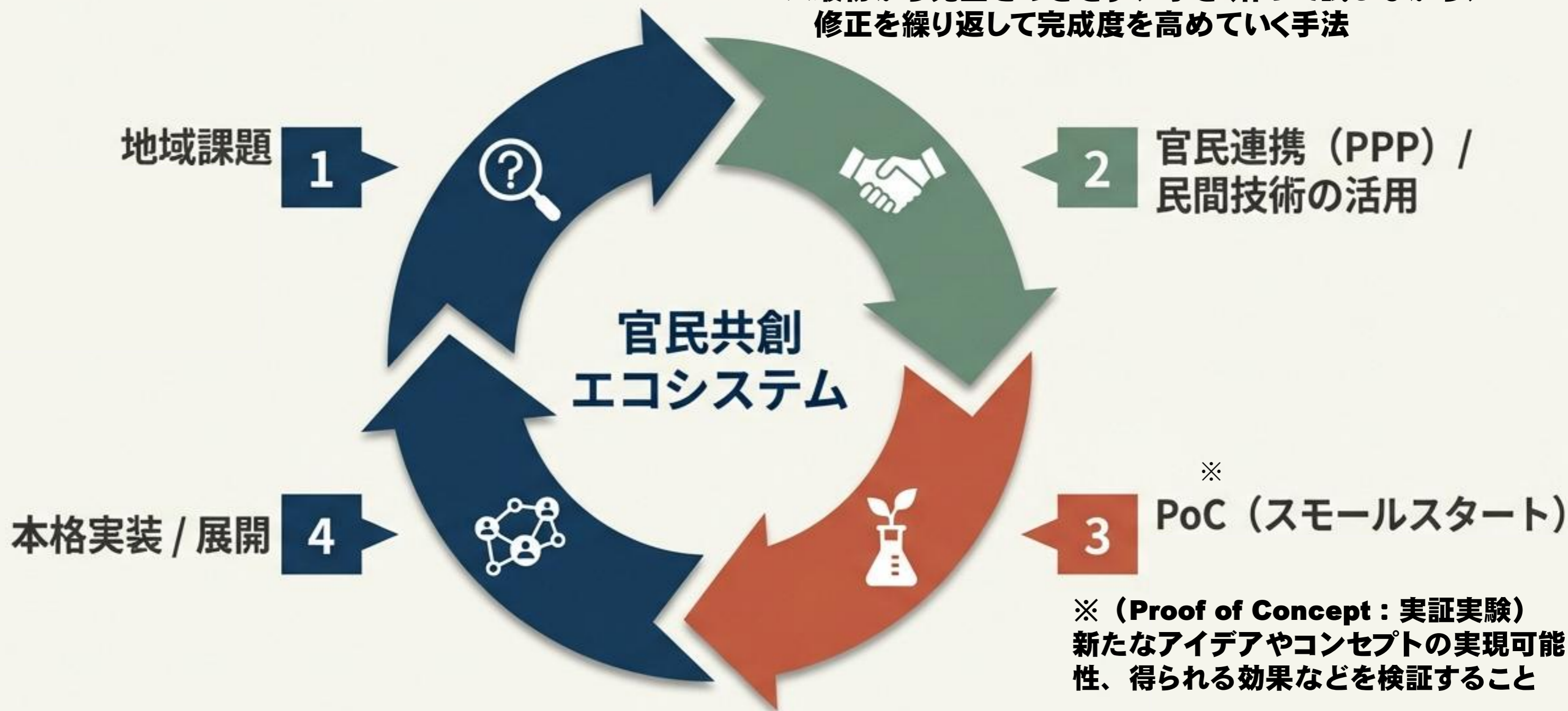
情報連携と先進サービスの  
社会実装

# 具体的な施策の主な変更点

計画の項目	新たに盛り込んだ施策
個別最適な情報提供	公式LINEの活用、ホームページのAI検索窓
迅速で効率的な行政運営	<ul style="list-style-type: none"><li>・窓口フロントヤード改革</li><li>・高齢者の見守り、道路パトロールへの生成AI活用</li><li>・図書館の電子書籍貸出サービス</li></ul>
安全・安心のスマートシティ	仮想空間上に現実の都市環境を再現する「デジタルツイン」技術を活用したまちづくりの検討
ライフスタイルのDX	「高校生によるスマートフォン相談会」の追加・拡充
事業者におけるDXの推進	「いずも縁結びPAY」の推進
デジタルを活用したシティセールス	<ul style="list-style-type: none"><li>・サテライトオフィス等を活用したソフト産業等の誘致に「izumonomad」の記述を追加</li><li>・外国人デジタル人材の活躍推進と多文化共生DX</li></ul>
デジタルを活用した観光誘客	カメラ等に搭載された「エッジAI」技術活用の検討
DXを進める人材の育成と活用	「いずもデジタルスタジオ」の活用

# 推進体制：官民共創とアジャイルな実装

※最初から完璧をめざさず、小さく作って試しながら、修正を繰り返して完成度を高めていく手法



内部人材の育成：業務効率の向上のため、職員自身がAIなどDXツールを使いこなせる体制づくり

**未来へつなぐ、新しい市役所  
のカタチをつくります！！**

